

ヤマハ株式会社  
2016年3月期  
第3四半期決算説明会

2016年 2月 5日



## 3Q決算概要

- 対前年同期、前回予想共に増収、各利益段階で大幅増益  
3Qでの営業利益150億円超は2004年3月期以来の高水準  
売上高営業利益率は13.3%
- 楽器事業は、電子楽器、弦打楽器が対前年同期実質二桁成長と好調
- 音響機器でも、AV機器、PA機器が対前年同期実質二桁成長
- 電子部品は、対前年同期減収も損益はほぼ想定通り
- その他事業は、ゴルフ新商品出荷等で堅調な推移

# 2016/3期 3Q業績概要



(億円)

	15/3 3Q	16/3 3Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,169	1,183	+1.2%	1,170	+1.1%
営業利益 (営業利益率)	106 (9.1%)	157 (13.3%)	+47.7%	118 (10.1%)	+33.0%
経常利益 (経常利益率)	109 (9.3%)	154 (13.0%)	+41.0%	113 (9.7%)	+35.9%
当期利益※ (当期利益率)	99 (8.5%)	131 (11.1%)	+32.0%	91 (7.8%)	+43.8%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	114	121	120
	EUR	143	133	130
利益	US\$	112	121	120
	EUR	138	135	130

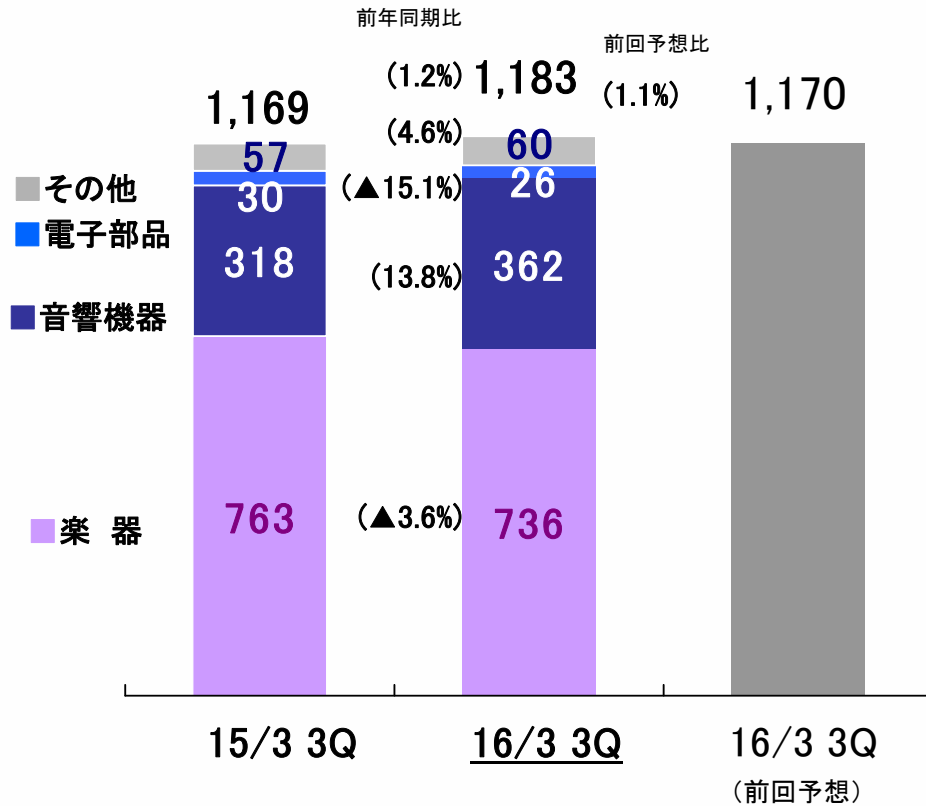
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/10/30 発表

# 2016/3期 3Q事業別業績

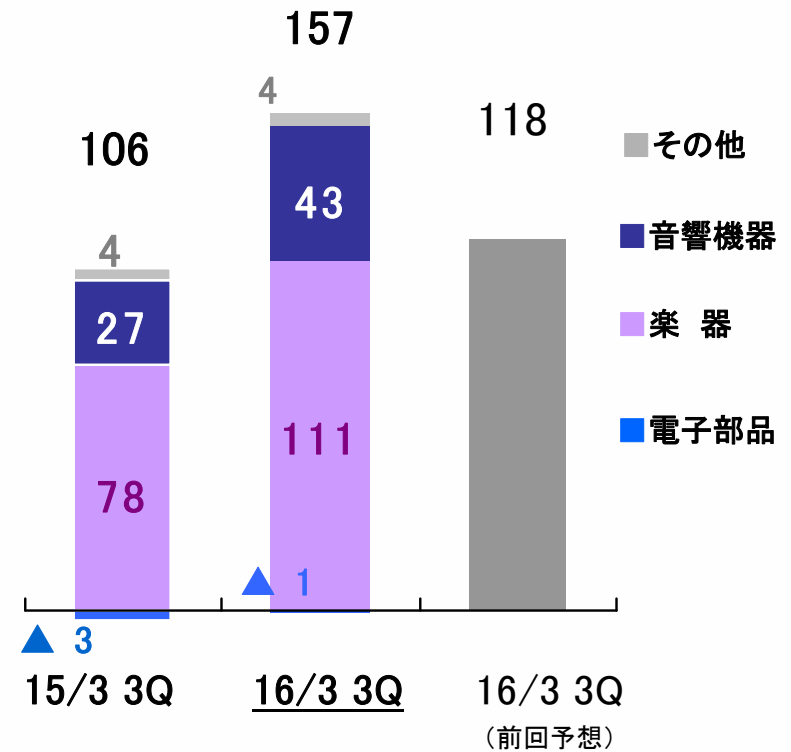


## 売上高



## 営業利益

(億円)



為替影響額 (億円)	
前年同期比較	▲17 楽器 ▲11 音響機器 ▲7 電子部品 +1
前回予想比較	▲2 楽器 ▲1 音響機器 ▲1

為替影響額 (億円)	
前年同期比較	▲3 楽器 ▲2 音響機器 ▲1
前回予想比較	+8 楽器 +3 音響機器 +5

●前回予想は2015/10/30 発表

# 楽器事業 3Qの状況

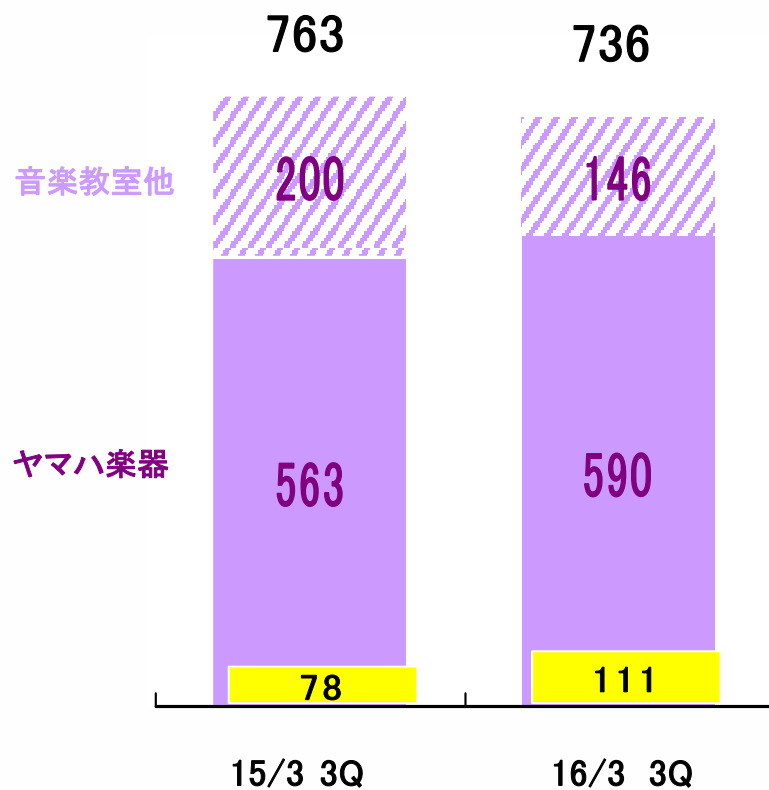


3Q

■ 売上高

■ 営業損益

(億円)



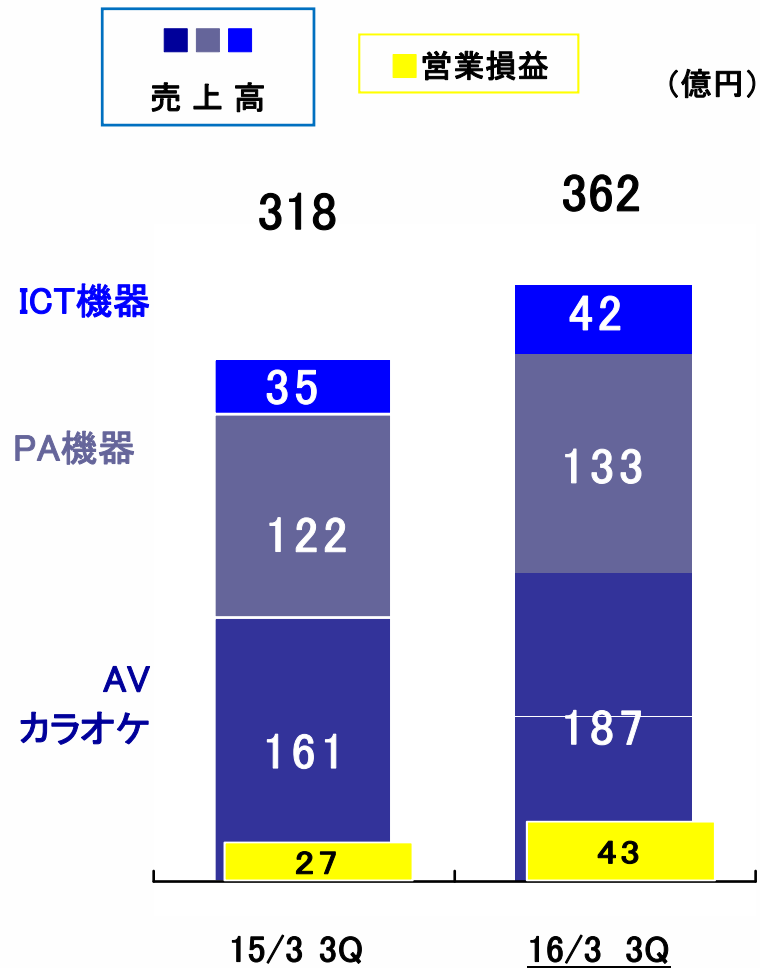
## 3Qの状況

- ・対前年同期減収も大幅な増益
- ・減収は、音楽教室運営移管及び為替影響が要因
- ・商品別では、電子楽器、弦打楽器が対前年同期実質二桁成長、管楽器も堅調な推移
- ・市場別では。中国、欧州市場が対前年同期実質二桁成長と好調 北米市場も好調な推移
- ・国内は、エレクトーン減収を補い製品売上は前年並み

# 音響機器事業 3Qの状況



3Q



## 3Qの状況

- ・対前年同期大幅な増収増益
- ・AV機器は、新商品導入もあり全市場好調で対前年同期実質二桁成長
- ・PA機器も、新商品導入、国内の音響設備工事等により同じく対前年同期実質二桁成長を維持
- ・Revolabsの販売も回復、通信機器 カラオケも堅調な推移

# 電子部品事業 3Qの状況

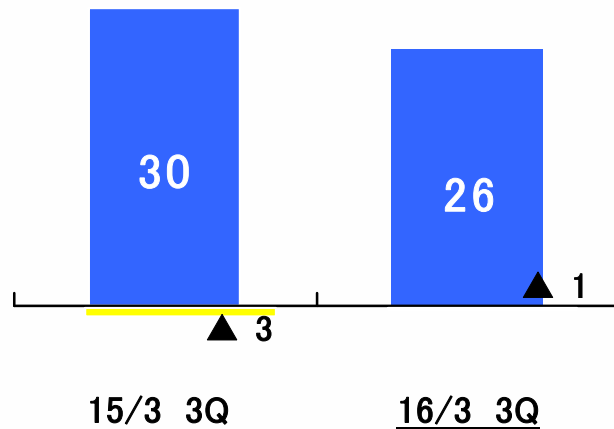


3Q

■ 売上高

■ 営業損益

(億円)



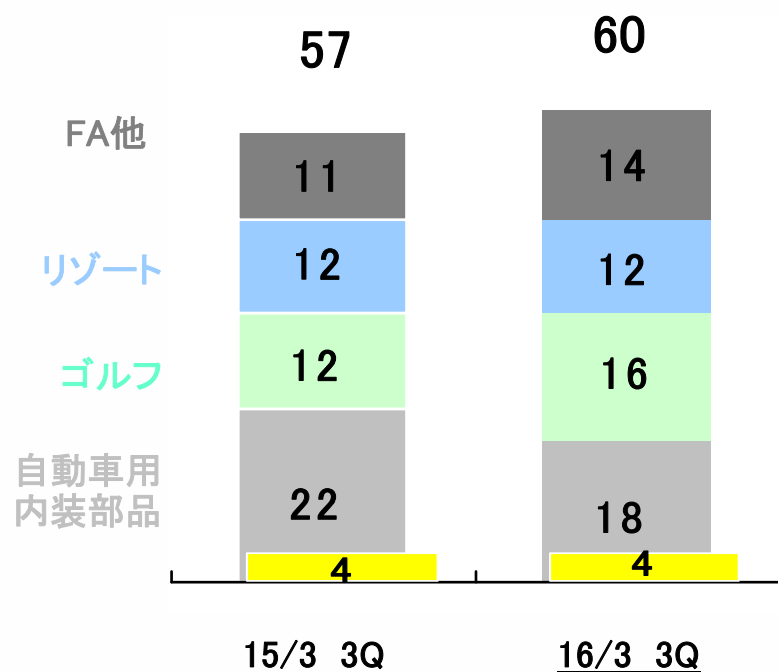
## 3Qの状況

- ・対前年同期減収も損益改善
- ・アミューズメント向け部品の上期前倒し出荷影響の反動もあり対前年同期減収
- ・損益は、構造改革効果で概ね計画通り

# その他の事業 3Qの状況



3Q



## 3Qの状況

- ・対前年同期増収 損益横ばい
- ・ゴルフは新商品出荷により増収
- ・FA機器は、リークテスターが堅調な推移



# 2016/3期 1～3Q業績概要



(億円)

	15/3 1～3Q	16/3 1～3Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	3,232	3,358	+3.9%	3,345	+0.4%
営業利益 (営業利益率)	257 (8.0%)	369 (11.0%)	+43.6%	330 (9.9%)	+11.9%
経常利益 (経常利益率)	260 (8.0%)	376 (11.2%)	+44.9%	335 (10.0%)	+12.2%
当期利益 (当期利益率)	207 (6.4%)	305 (9.1%)	+47.3%	265 (7.9%)	+15.1%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	107	122	121
	EUR	140	134	133
利益	US\$	105	122	121
	EUR	140	134	133

※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/10/30 発表

## 特別損益の計上について

### ■ のれんの一時償却による特別損失計上

当社が平成26年1月に完全子会社化したLine 6社の、のれん一時償却を決定

理由 2期連続での赤字見通し、同社の商品企画、開発力等を活用した成果に遅れも生じており、当初計画した期間での投資回収が困難と判断

損益影響(連結) のれんの一時償却として 45億円の特別損失を計上

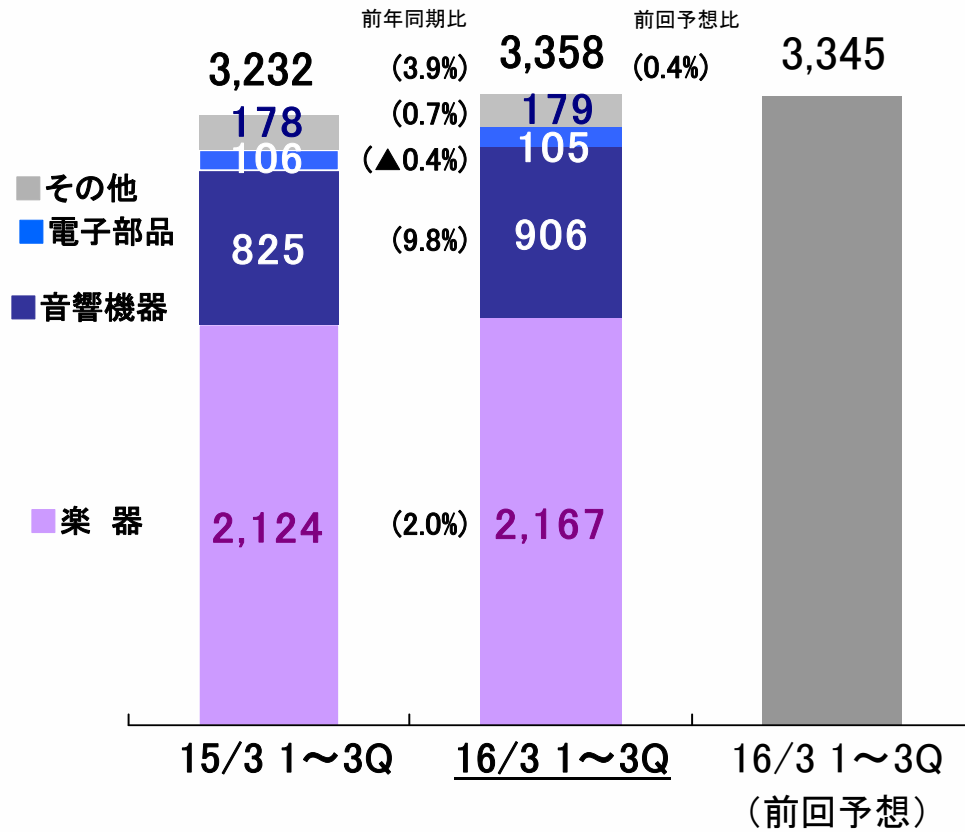
### ■ 固定資産処分損益

大阪の旧心齋橋店土地・建物の売却益等で 56億円の固定資産処分益計上

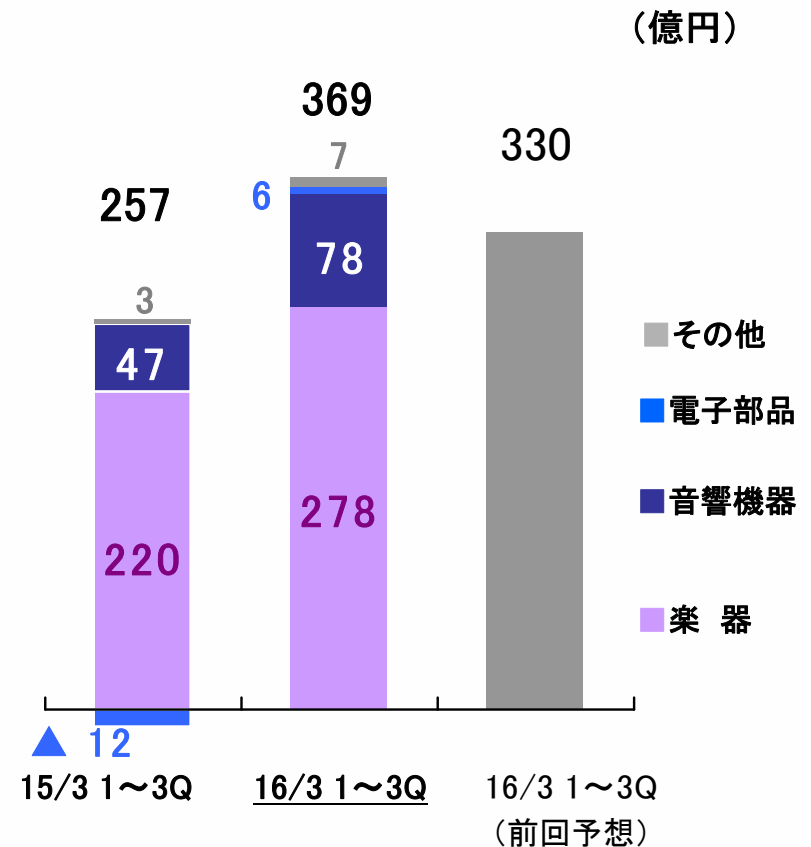
# 2016/3期 1～3Q事業別業績



## 売上高



## 営業利益



為替影響額 (億円)	
前期比較	+85 楽器 +62 音響機器 +20 電子部品 +2
前回予想比較	▲2 楽器 ▲1 音響機器 ▲1

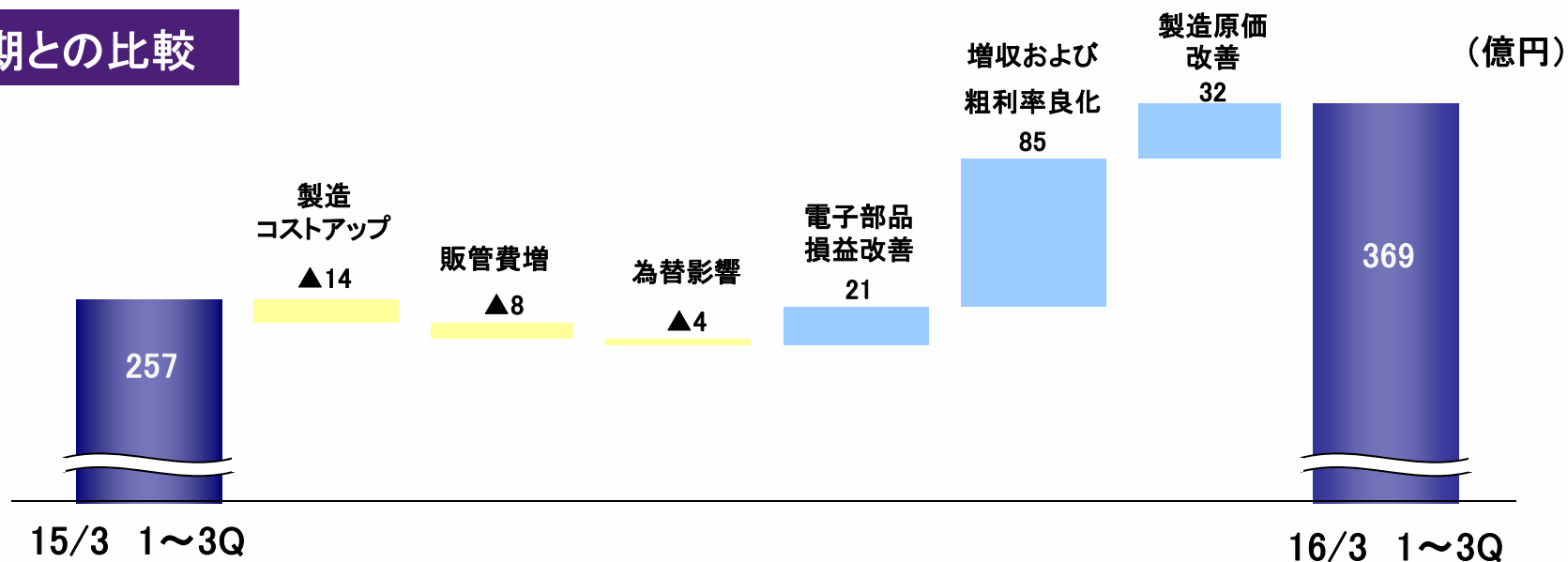
為替影響額 (億円)	
前期比較	▲4 楽器 +8 音響機器 ▲9 電子部品 ▲3
前回予想比較	+8 楽器 +3 音響機器 +5

●前回予想は2015/10/30 発表

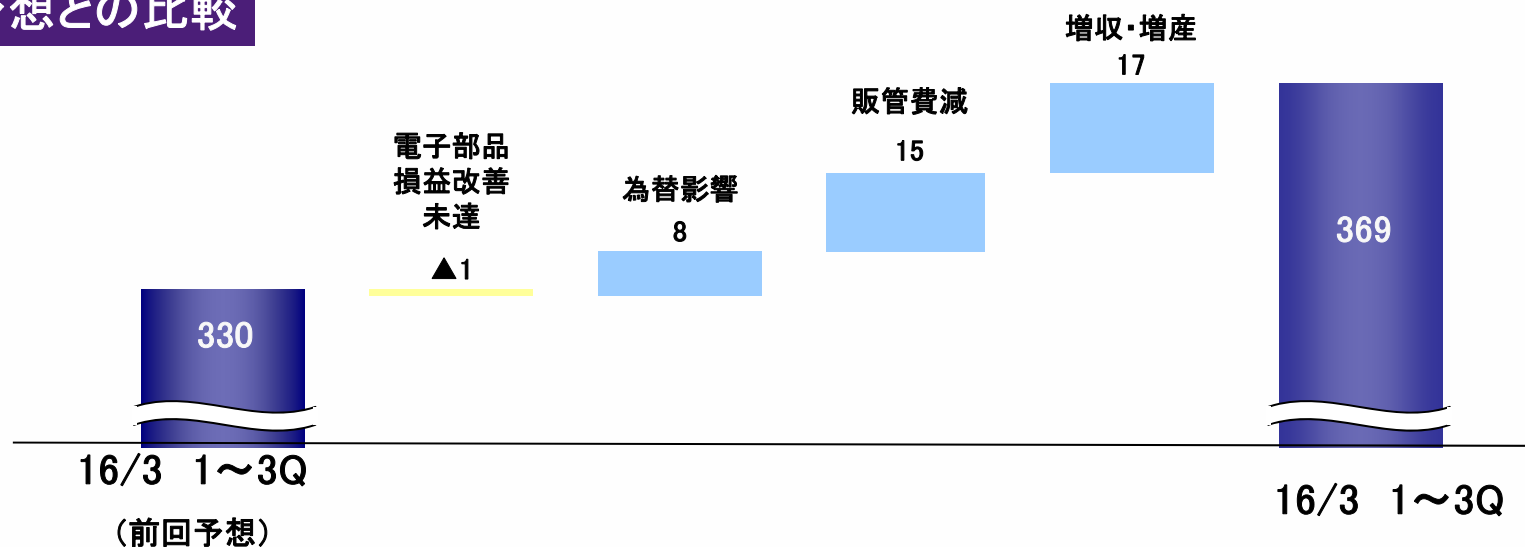
# 2016/3期 1～3Q営業利益増減要因



## 前期との比較



## 前回予想との比較



●前回予想は2015/10/30 発表

※為替影響については、影響額算出基準見直しに伴い、過去の公表数値との差異があります。

## 4Qの見通し

- 楽器事業、音響機器事業は、中国市場等の減速懸念や一部3Q前倒し出荷の影響があるものの、概ね前回予想通り
- 電子部品、その他の事業についても、概ね前回予想を据え置く
- 販売管理費等で特別な経費増想定はなし

## 通期の業績見込み

最大の需要期3Q業績が好調に推移、3Q累計での損益が前回予想を大幅に上回ったものの、4Q業績は、前回予想を基本的に据え置き  
通期売上高は、4,370億円と変更せず、各利益については、営業利益410億円  
経常利益415億円 当期純利益345億円に修正する。

# 2016/3期 通期業績予想



(億円)

	15/3			16/3予想			前期比	前回 予想	前回 予想比
	1~3Q	4Q	通期	1~3Q 実績	4Q 予想	通期 予想			
売上高	3,232	1,089	4,322	3,358	1,012	4,370	+1.1%	4,370	-
営業利益 (営業利益率)	257 (8.0%)	44 (4.1%)	301 (7.0%)	369 (11.0%)	41 (4.1%)	410 (9.4%)	+36.1%	370 (8.5%)	+10.8%
経常利益 (経常利益率)	260 (8.0%)	53 (4.8%)	312 (7.2%)	376 (11.2%)	39 (3.9%)	415 (9.5%)	+32.9%	375 (8.6%)	+10.7%
当期利益 (当期利益率)	207 (6.4%)	42 (3.9%)	249 (5.8%)	305 (9.1%)	40 (4.0%)	345 (7.9%)	+38.4%	290 (6.6%)	+19.0%
ROE			8.1%			10.0%		8.3%	

## 為替レート (円)

売上高	US\$	107	119	110	122	120	121	121
	EUR	140	134	139	134	130	133	133
利益	US\$	105	119	109	122	120	121	121
	EUR	140	144	141	134	130	134	132

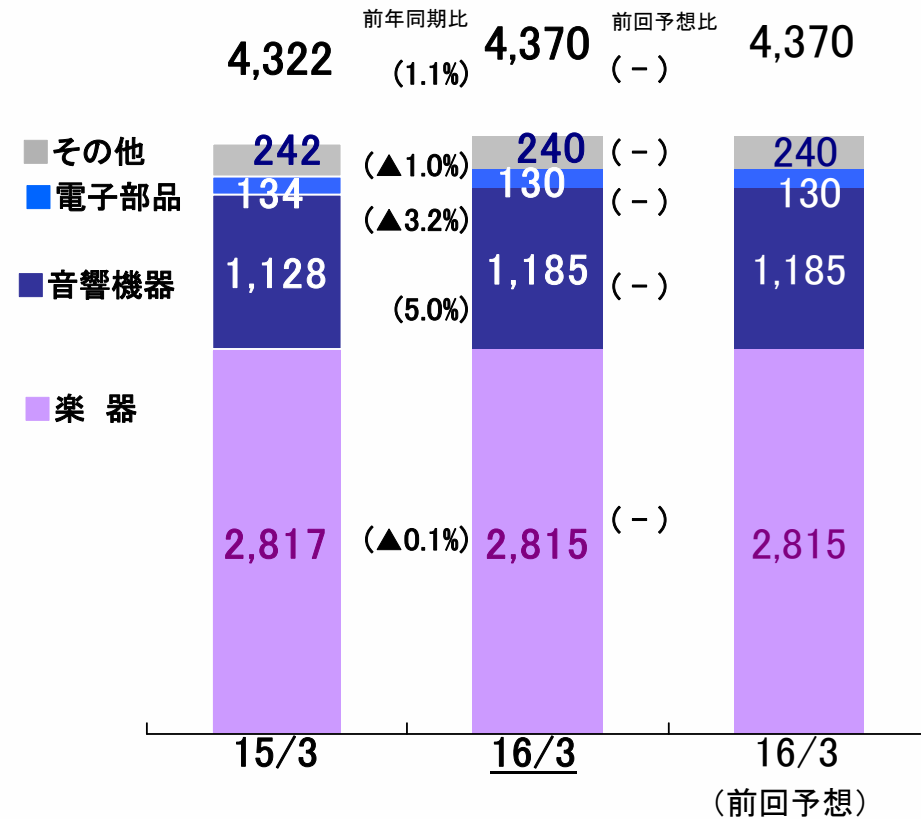
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/10/30 発表

# 2016/3期 通期事業別業績予想



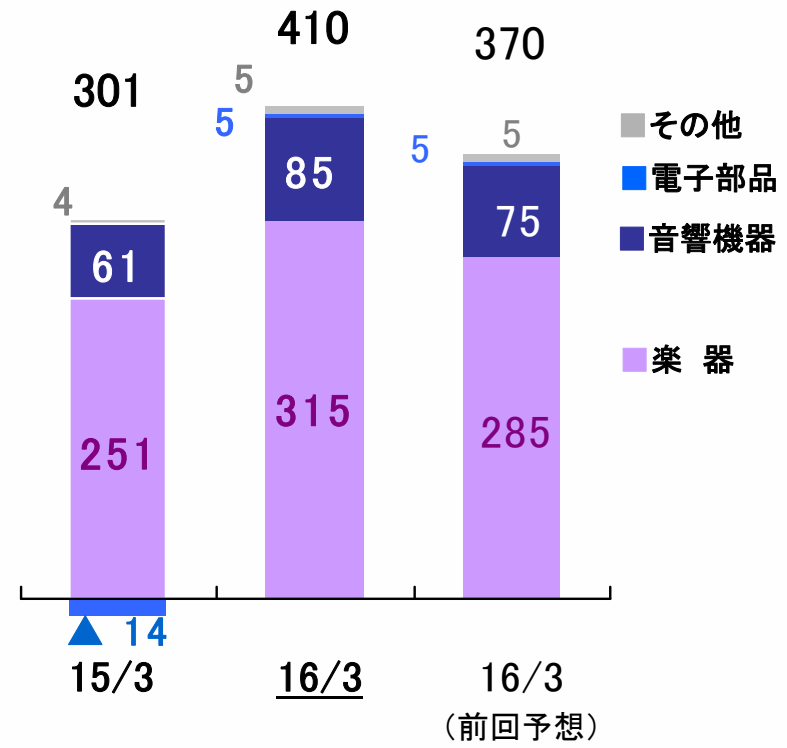
## 売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+74 楽器 +55 音響機器 +16 電子部品 +2
前回予想比較	▲9 楽器 ▲6 音響機器 ▲3

## 営業利益

(億円)



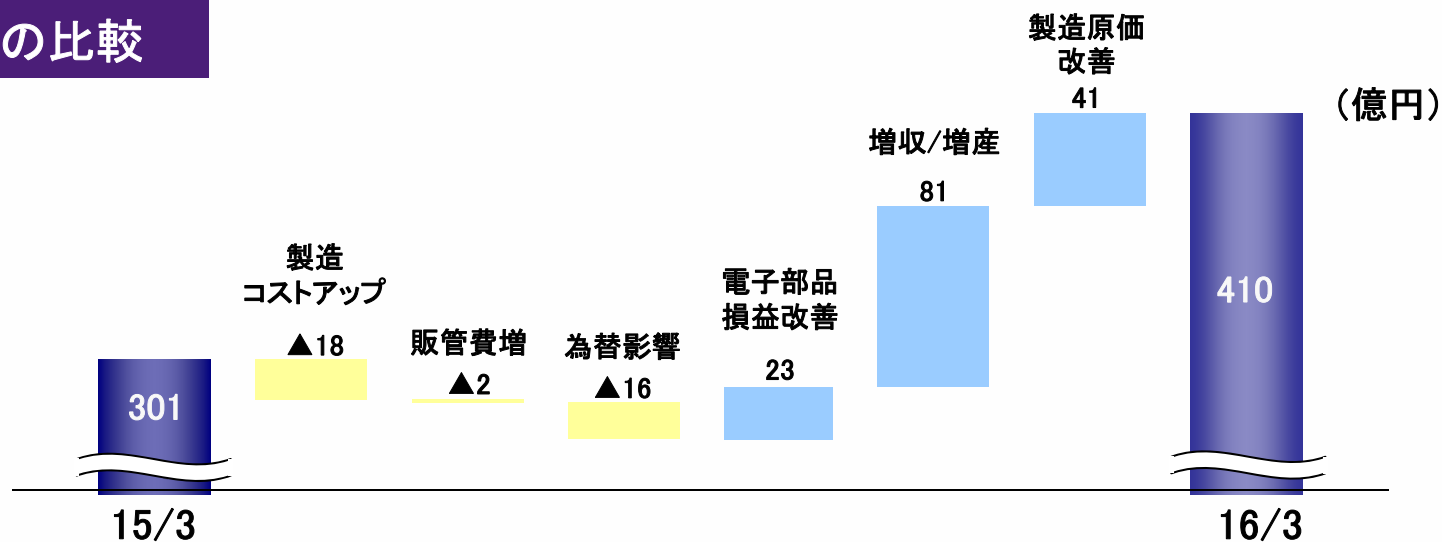
為替影響額 (億円)	
前期比較	▲17 音響機器 ▲13 電子部品 ▲3
前回予想比較	+8 楽器 +2 音響機器 +5

●前回予想は2015/10/30 発表

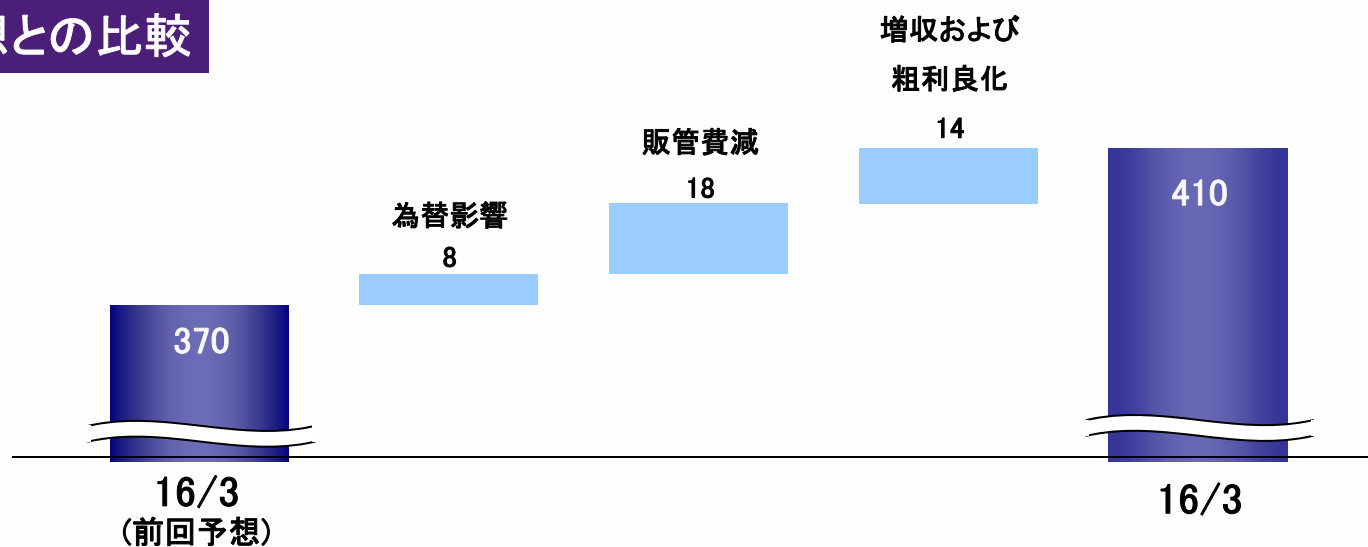
# 2016/3期 通期営業利益予想増減要因



## 前期との比較



## 前回予想との比較



●前回予想は2015/10/30 発表

※為替影響については、影響額算出基準見直しに伴い、過去の公表数値との差異があります。



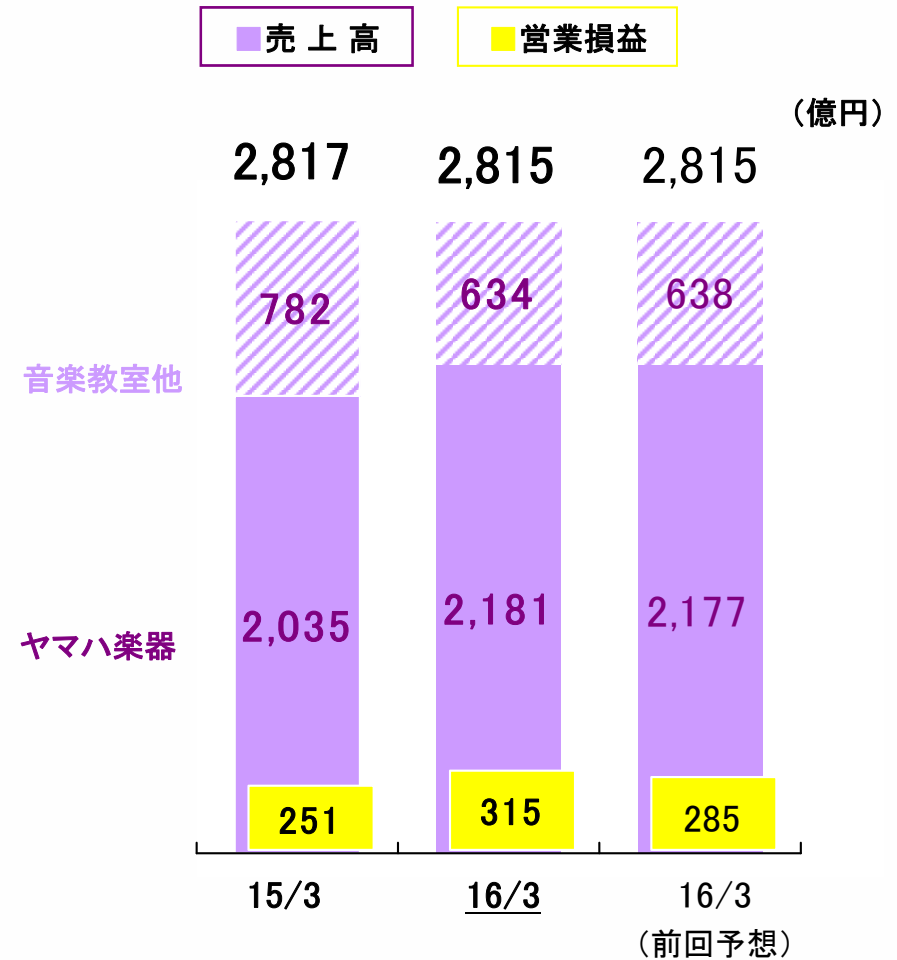
# 楽器事業 通期予想



通期

**通期予想**

- ・通期売上高は前回予想を据え置き、増益を予想
- ・商品別には、電子楽器、管楽器、弦打楽器の好調持続
- ・市場別には、欧州、中国市場の4Q減速想定も、概ね前回予想通りを予想

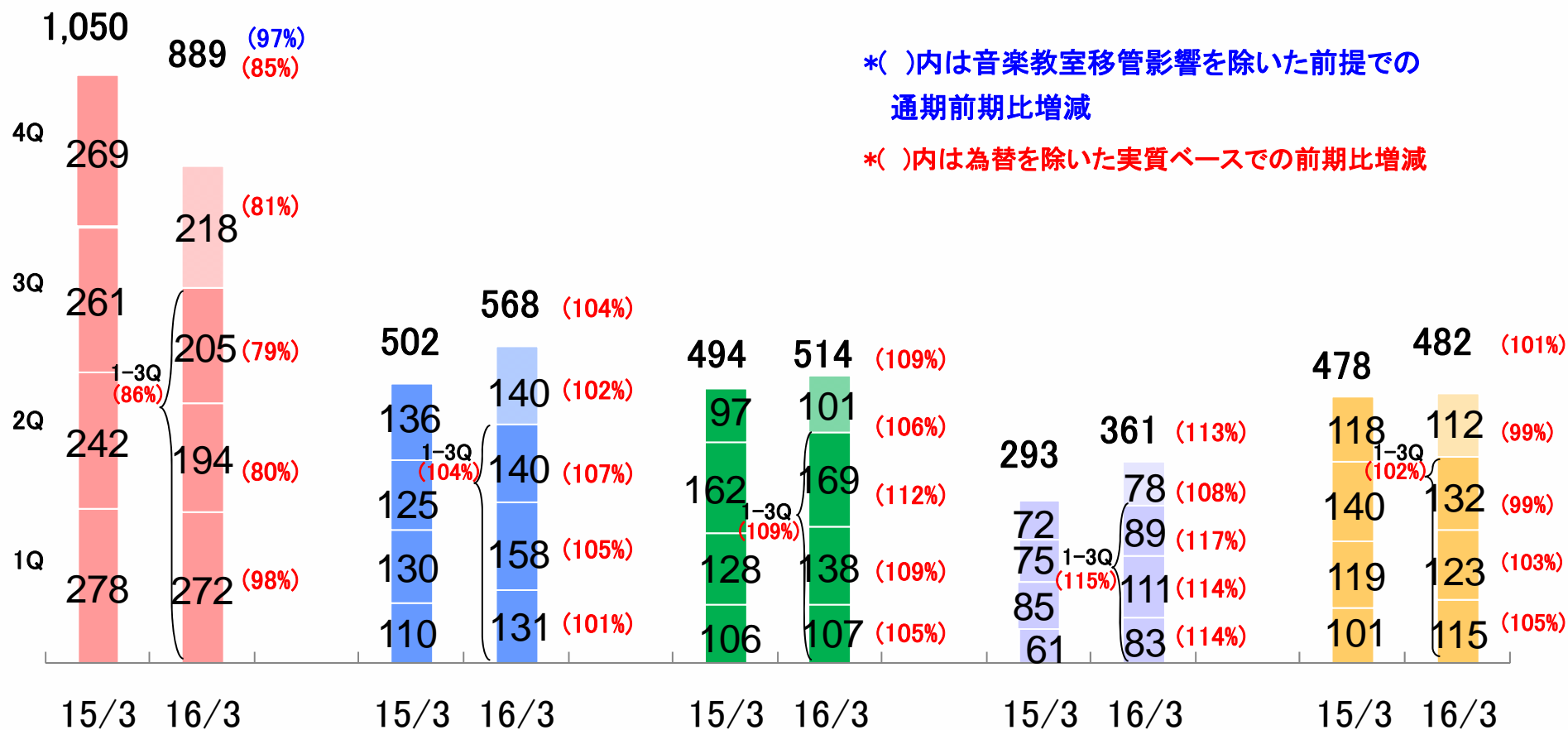


# 楽器事業(地域別の販売予想)



## 【楽器販売予想 (ソフト、音楽教室等を含む)】

(億円)



\* ( )内は音楽教室移管影響を除いた前提での  
通期前期比増減

\* ( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

日本

北米

欧州

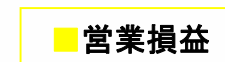
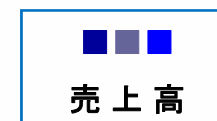
中国

その他

# 音響機器事業 通期予想



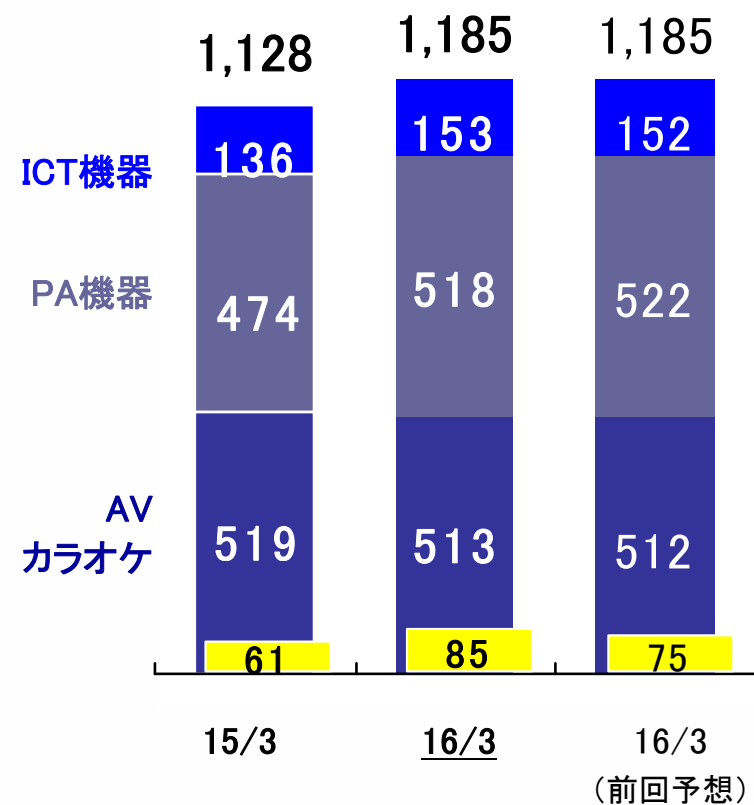
通期



(億円)

**通期予想**

- ・通期売上高は前回予想を据え置くも、増益を予想
- ・AV機器は、新商品効果等で対前期増収想定
- ・PA機器は、好調な楽器販路及び新商品効果期待
- ・カラオケ、通信機器は堅調な推移を想定

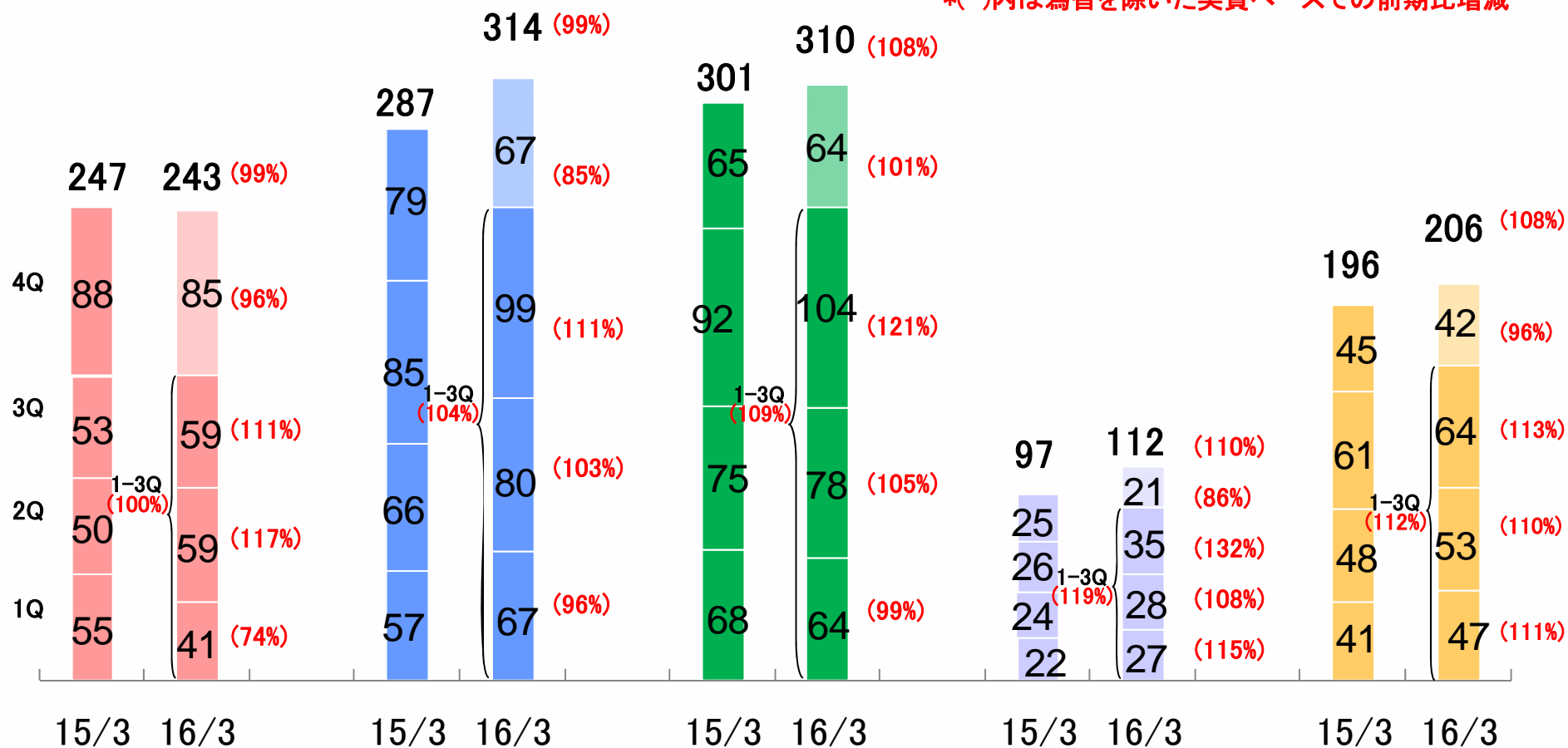


# 音響機器事業(地域別の販売予想)



(億円)

\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



日本

北米

欧州

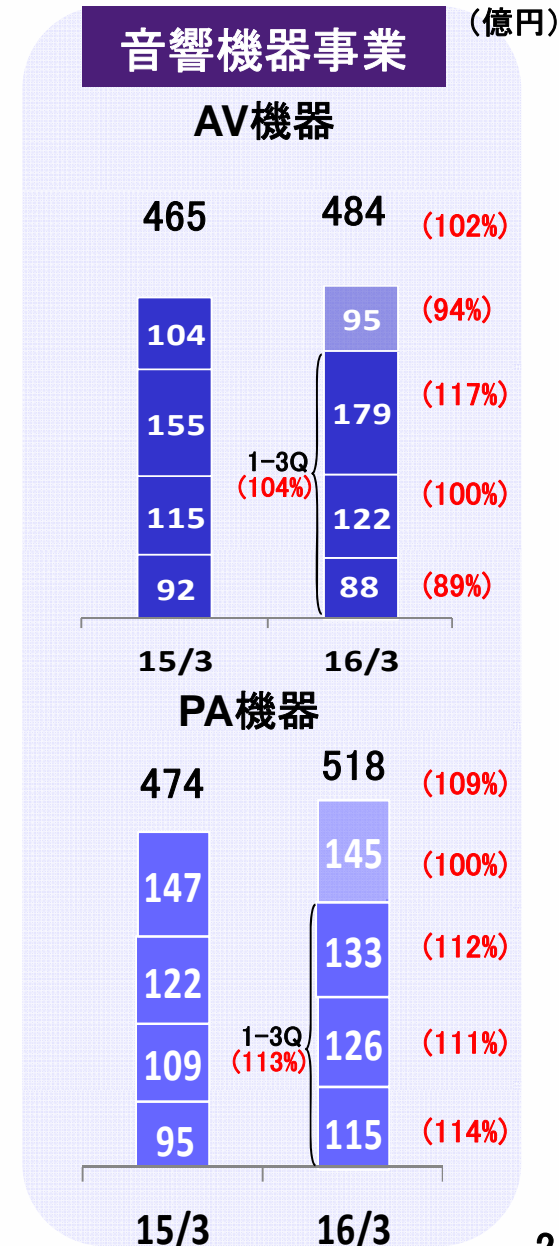
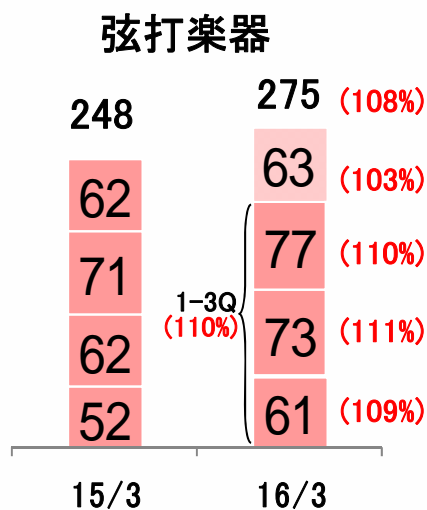
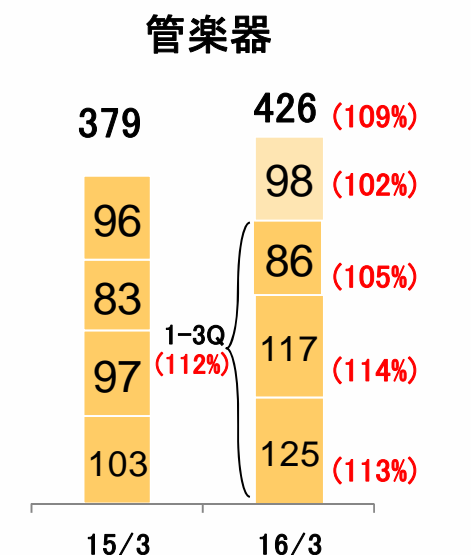
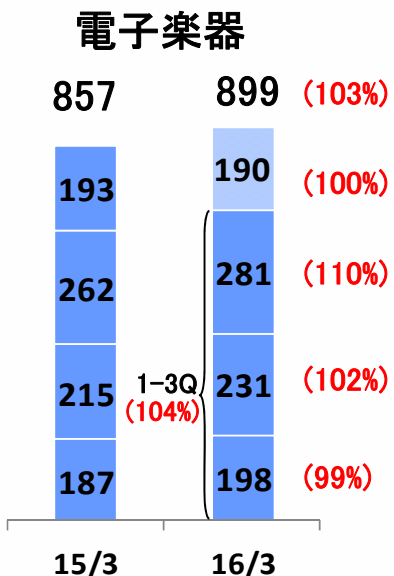
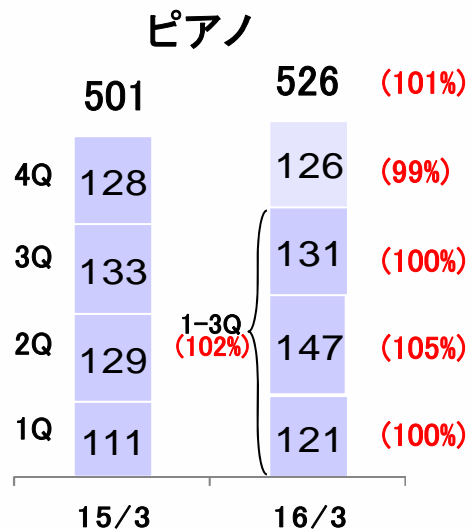
中国

その他

# 楽器・音響機器事業(主要商品別販売予想)



## 楽器事業



\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 電子部品事業 通期予想



## 通期

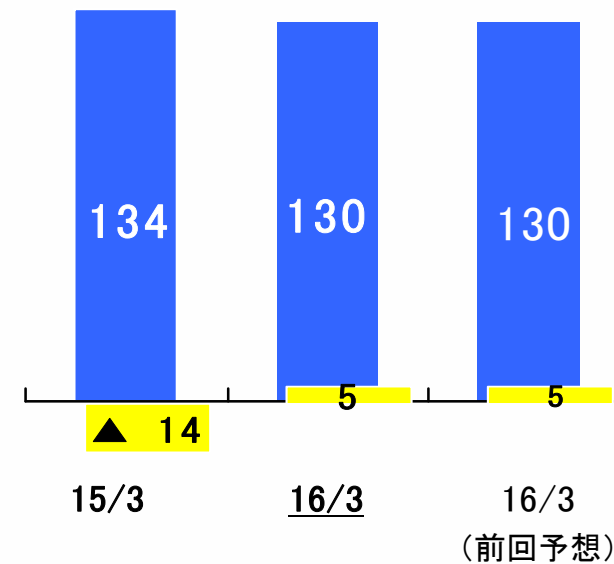
■ 売上高

■ 営業損益

(億円)

### 通期予想

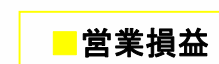
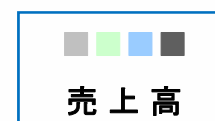
- ・前回予想を据え置き
- ・アミューズメント用部品市況厳しさは継続
- ・地磁気センサー含め、前回想定以上の販売増は厳しい状況
- ・構造改革効果により損益改善 黒字化



# その他の事業 通期予想

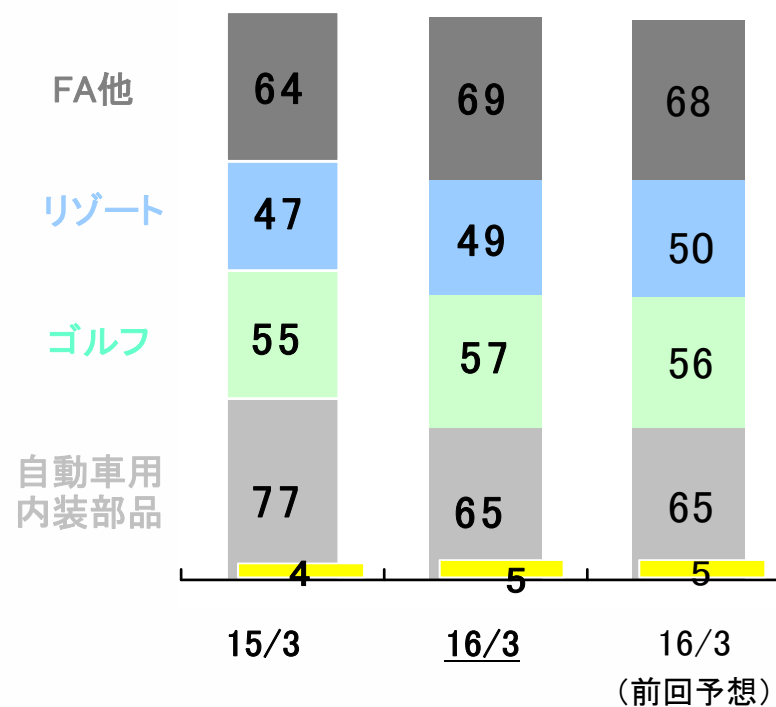


## 通期



(億円)

242      240      240



## 通期予想

- ・前回予想を据え置き
- ・ゴルフは新商品効果を想定
- ・リゾートは冬季集客企画の効果に期待
- ・FA機器は、プレジジョン機器は厳しさ継続もリークテスター等の需要増を想定

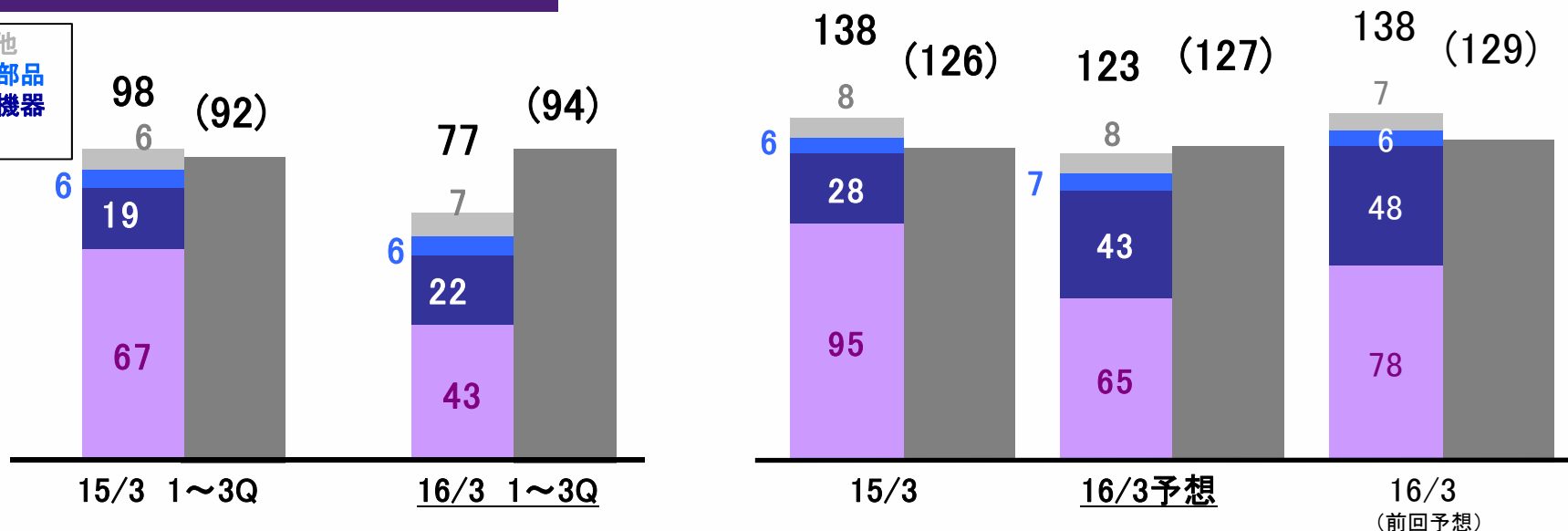
# 設備投資額・減価償却費/研究開発費



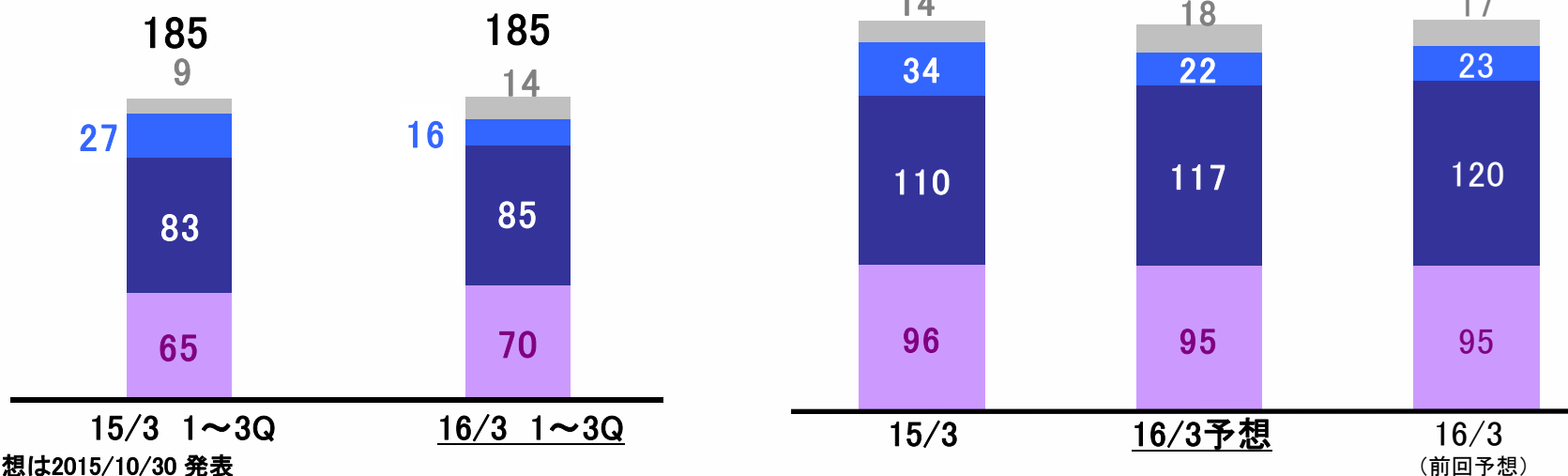
## 設備投資額(減価償却費)

(億円)

- その他
- 電子部品
- 音響機器
- 楽器



## 研究開発費



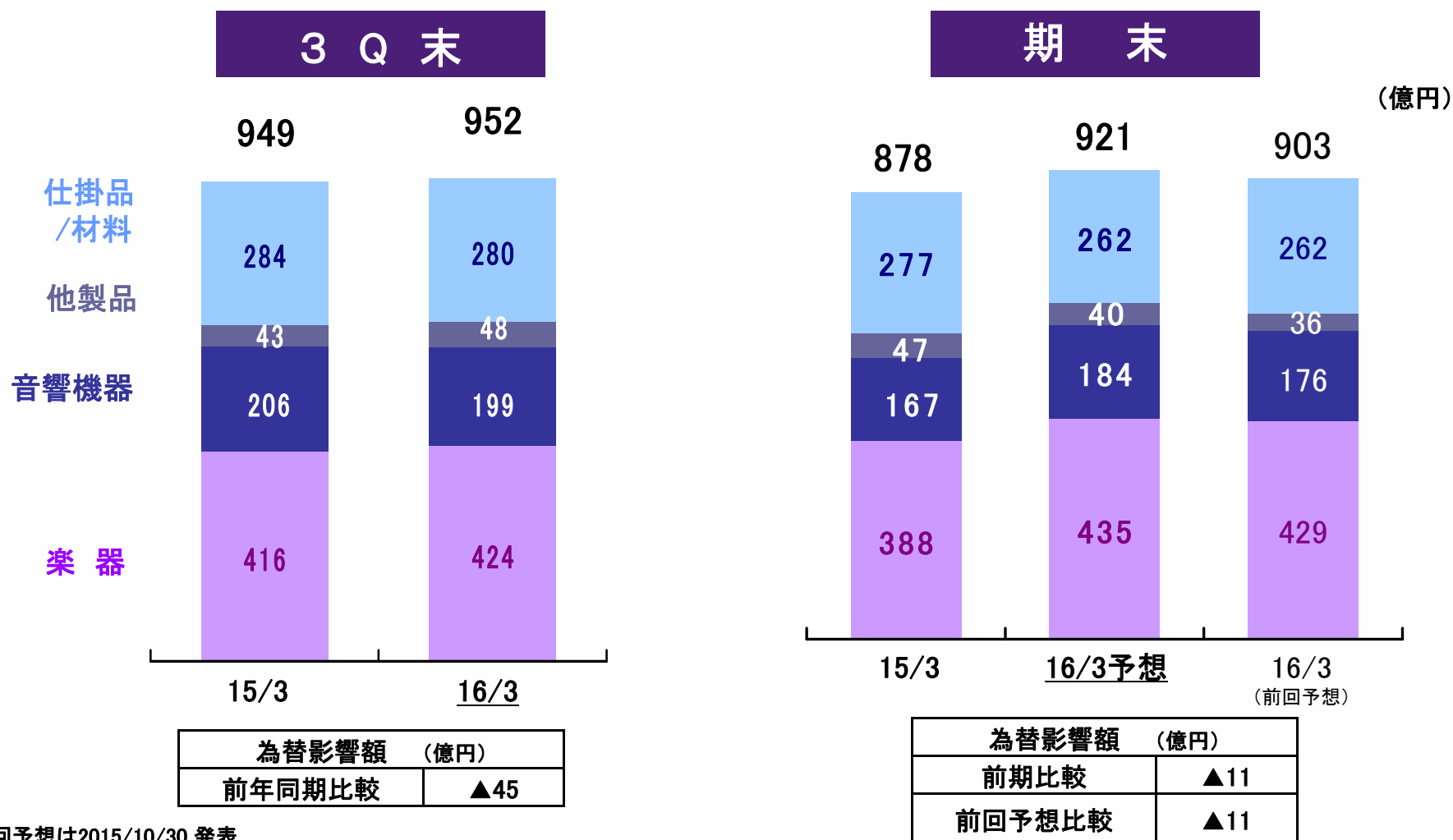
●前回予想は2015/10/30 発表



# 棚卸資産



- 3Q末総在庫は、952億円。対前年同期では為替影響▲45億円あり、実質48億円の増
- 期末は921億円を想定。総在庫水準としては増加傾向にあるが、不良不動在庫等の特段の問題はないと認識



●前回予想は2015/10/30 発表

# 貸借対照表



(億円)

	3Q末			期末予想		
	14/12末	15/12末	増減	15/3末	16/3末	増減
現預金	745	995	250	793	894	101
売上債権	682	628	▲54	603	541	▲62
棚卸資産	949	952	3	878	921	43
他流動資産	194	236	42	202	309	107
固定資産	2,620	2,625	5	2,824	2,505	▲319
<b>資産計</b>	<b>5,190</b>	<b>5,436</b>	<b>246</b>	<b>5,300</b>	<b>5,170</b>	<b>▲130</b>
仕入債務	230	189	▲41	232	204	▲28
借入金	198	205	7	118	118	0
他負債	1,465	1,408	▲57	1,463	1,378	▲85
純資産計	3,297	3,634	337	3,487	3,470	▲17
<b>負債純資産計</b>	<b>5,190</b>	<b>5,436</b>	<b>246</b>	<b>5,300</b>	<b>5,170</b>	<b>▲130</b>

# 株主還元 ≪自己株式取得及び配当≫



## ➤自己株式取得を決定

【理由】	株主還元と資本効率の向上を図るため
【取得株式の種類】	当社普通株式
【取得総数】	900万株(上限)
【取得総額】	200億円(上限)
【取得期間】	平成28年2月5日～平成28年7月15日
【取得方法】	信託方式による市場買付

## ➤2016年3月期 期末配当を26円に8円増配し、年間配当は44円を予定

	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
1株あたりの 年間配当 (円)	10	10	10	27	36	44
配当性向	38.6%	—	47.0%	22.8%	28.0%	24.6%

# 付属資料

# 2016/3期 4Q業績予想



(億円)

	15/3 4Q	16/3 4Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,089	1,012	▲7.1%	1,025	▲1.3%
営業利益 (営業利益率)	44 (4.1%)	41 (4.1%)	▲7.3%	40 (3.9%)	+2.5%
経常利益 (経常利益率)	53 (4.8%)	39 (3.9%)	▲26.1%	40 (3.9%)	▲2.5%
当期利益 (当期利益率)	42 (3.9%)	40 (4.0%)	▲5.3%	25 (2.4%)	+60.0%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	119	120	120
	EUR	134	130	130
利益	US\$	119	120	120
	EUR	144	130	130

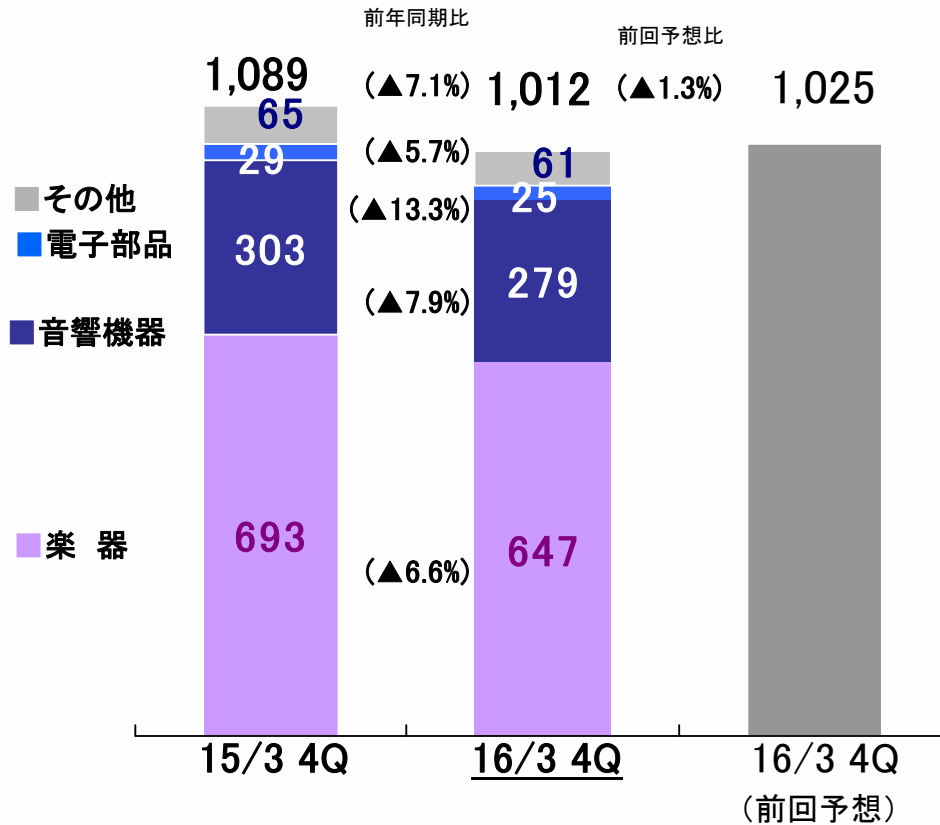
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/10/30 発表

# 2016/3期 4Q事業別業績予想



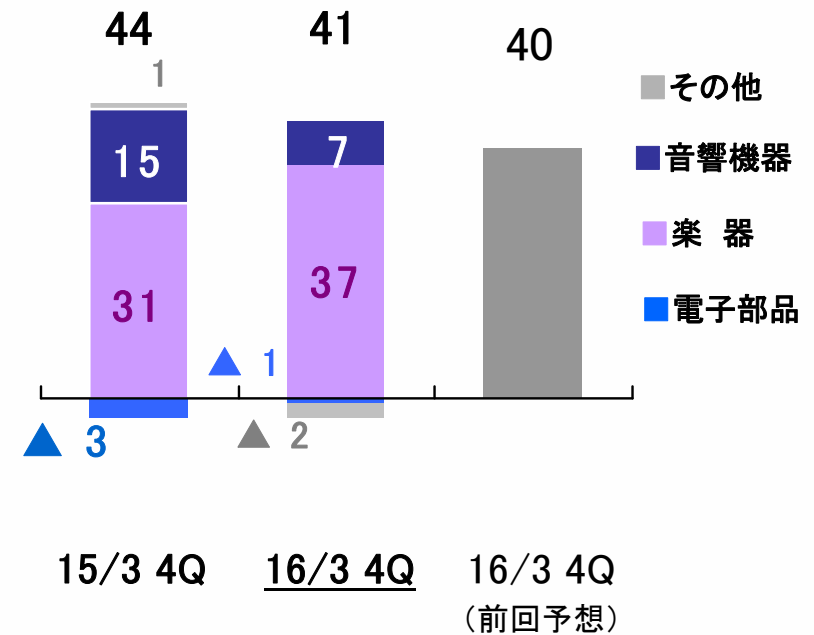
## 売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	▲11 楽器 ▲7 音響機器 ▲4
前回予想比較	▲8 楽器 ▲5 音響機器 ▲3

## 営業利益

(億円)



為替影響額 (億円)	
前期比較	▲13 楽器 ▲8 音響機器 ▲5
前回予想比較	0 楽器 ▲1 音響機器 +1

●前回予想は2015/10/30 発表

# 2016/3期 1～3Q営業外損益、特別損益



(億円)	15/3 1～3Q	16/3 1～3Q	16/3 1～3Q前回予想
<b>営業外損益</b>			
金融収支	13	16	15
その他	▲10	▲9	▲10
計	3	7	5
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	0	56	4
その他	▲7	▲47	▲4
計	▲7	9	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	57	81	74
法人税等調整額	▲13	▲2	▲5
少数株主利益	2	1	1
計	46	80	70

特許関連収入  
6

店舗及び寮資産  
売却益 62

Line 6のれん  
一時償却 ▲45

# 2016/3期 通期営業外損益、特別損益



(億円)	15/3 通期	16/3 通期	16/3 通期前回予想
<b>営業外損益</b>			
金融収支	26	26	24
その他	▲15	▲21	▲19
計	11	5	5
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	0	81	4
その他	▲27	▲56	▲4
計	▲27	25	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	73	91	90
法人税等調整額	▲39	4	▲5
少数株主利益	2		
計	36	95	85

構造改革費用 ▲18  
固定資産減損 ▲9

店舗及び寮資産  
売却益 62  
遊休地売却益 27

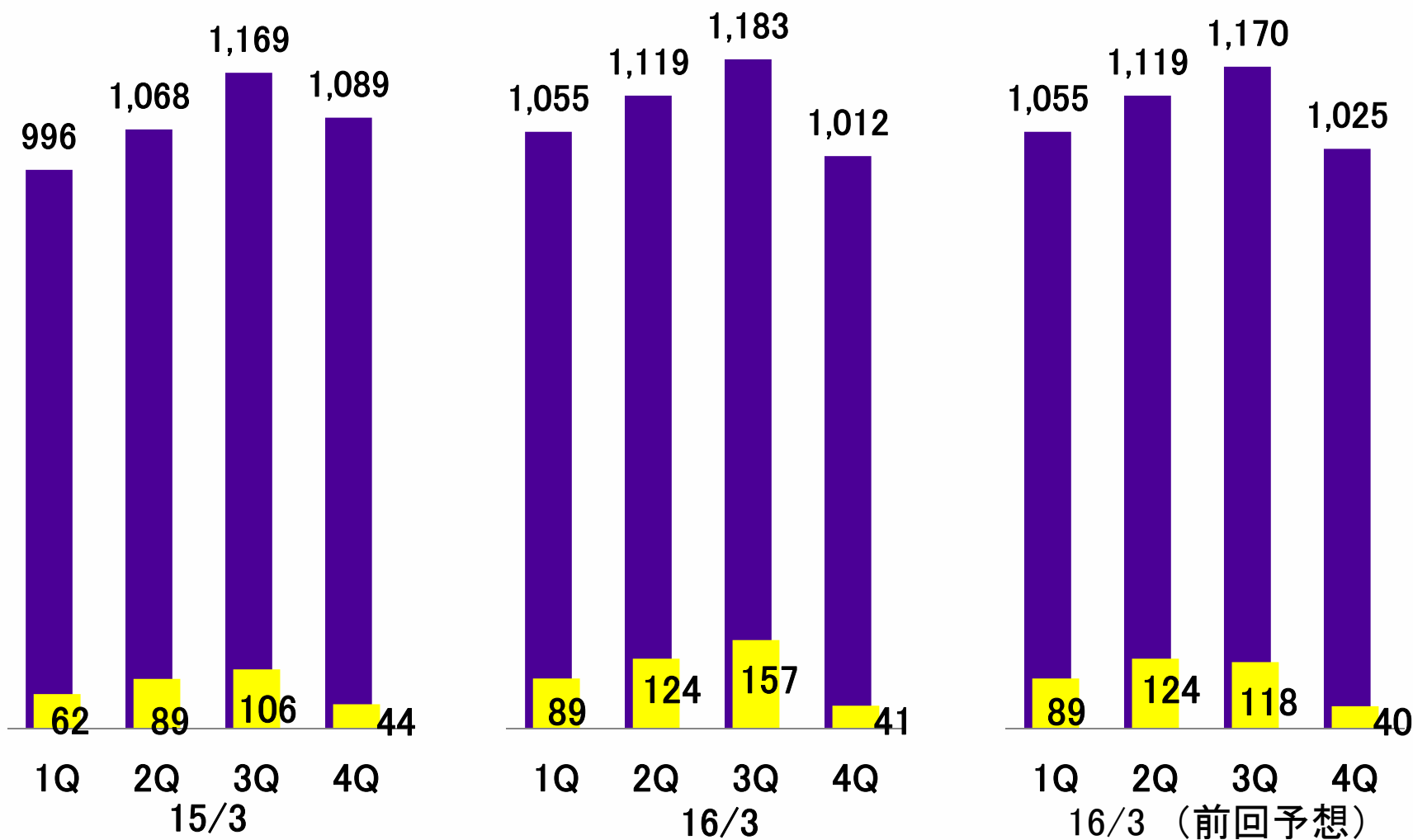
Line 6のれん  
一時償却 ▲45



# 四半期別売上高／営業利益



(億円)



売上高(通期)	4,322
営業利益(通期)	301

売上高(通期)	4,370
営業利益(通期)	410

売上高(通期)	4,370
営業利益(通期)	370

●前回予想は2015/10/30 発表

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。